

# 天満橋駅(地下鉄谷町線)③

## 八軒家浜から熊野街道へ

天満橋駅(京阪本線・中之島線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その2 No.072



### 地下鉄・京阪天満橋駅

#### ①八軒家浜

- 平成20年(2008)に八軒家浜船着場が開港しました。3隻分の観光船が着岸でき、大阪城や道頓堀などヘリパークルージングが楽しめます。

#### ②八軒家船着場跡

- 江戸時代、天神橋と天満橋に挟まれた大川の南岸が八軒家と呼ばれました。8軒の船宿があったからといわれています。古くは四天王寺詣や熊野詣の陸の起点として、江戸時代には京都と大阪を結んで淀川を行き来した三十石船の発着場として賑わいました。大坂への下り船は半日、伏見への上り船は1日かかったそうです。船着場跡の石碑は、老舗昆布店の前に建っています。



#### ③熊野街道道標

- 平安時代、熊野へ詣でる人々は京都から淀川を船で下り、現在の天満橋付近に上陸しました。このあたりは、古代は難波津、平安時代には渡辺津(窪津)と呼ばれました。ここを起点として御祓筋を南下し、四天王寺、住吉大社などを経て、熊野に向か

- いました。土佐堀通りから御祓筋に入る、東南角に熊野街道の道標は建っています。

#### ④大阪町中時報鐘

- 寛永11年(1634)、3代将軍徳川家光が大坂を訪れた際、大坂三郷の地子銀(固定資産税)を永久に免除することを約束しました。これに感謝した人々が釣鐘を铸造し、鐘楼を建てました。近松門左衛門の『曾根崎心中』に出てくる「暁の鐘」はこの鐘のことです。明治3年(1870)、鐘楼は撤去されますが、地元の方たちの努力で昭和60年(1985)、再び元の場所に戻ってきました。現在も1日3回、鐘の音を響かせています。



#### ⑤英語学校跡碑

- 明治2年(1869)、大坂に舎密局と洋学校が開校しました。舎密局は理化学を教える学校で、洋学校は理科、史科、文化、語科などを教える学校でしたが、のちに統合、名称変更を繰り返し、明治7年(1874)、大阪英語学校となりました。大阪初の英語学校です。明治22年(1889)に京都に移転し、現在の京都大学へ発展します。

#### ⑥大阪府庁

- 初代大阪府庁は中央区本町橋付近の西町奉行所を使用していたが、西区江之子島を経て、大正15年(1926)、現在の場所に移転しました。この庁舎の本館は全国一古い都道府県庁舎です。

#### ⑦大坂東町奉行所址碑

- 東西の奉行所ともに大坂城京橋口の門外に置かれていましたが、享保9年(1724年)の大火で西町奉行所は本町橋東詰に移転し、東町奉行所は京橋口に再建されました。大塩の乱を起こした大塩平八郎は東町の与力でした。

地下鉄・京阪天満橋駅

